

## 「マルチステークホルダー方針」

当社は、企業理念に「社員」「お客様」「生活者」「株主・お取引先」の「幸せ創造」を掲げており、株主にとどまらず、従業員、取引先、顧客、地域社会をはじめとする多様なステークホルダーとの価値協創が重要となっていることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。その上で、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、社会や経済の持続的発展につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取組を進めてまいります。

### 記

#### 1. 従業員への還元（必須記載）

当社は、多様な人材の雇用と育成、多様なワークスタイルの推進、働き方の革新によって、従業員と家族の物心両面のしあわせを追求します。

その上で、生み出した収益・成果に基づいて、自社の状況を踏まえた適切な方法による賃金の引上げを行うとともに、それ以外の総合的な処遇改善としても、従業員のエンゲージメント向上や更なる生産性の向上に資するよう、人材投資を中心に積極的に取り組むことを通じて、従業員への持続的な還元を目指します。

（個別項目）

具体的には、賃金の引上げについて、長期の雇用維持を前提とした継続的な賃金改善を実施するとともに、従業員の役割・貢献をより反映できる報酬制度を導入しております。人材投資については、キャリアアップのための階層別研修の実施、スキルアップのための職種別研修、心身の健康推進のための研修等様々な角度から従業員エンゲージメント及び生産性向上のための人材育成を実施しており、今後も強化してまいります。

#### 2. 取引先への配慮（必須記載）

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

- ・ パートナーシップ構築宣言の登録日  
【令和6年2月9日】
- ・ パートナーシップ構築宣言のURL  
【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/50291-05-19-osaka.pdf>】

### 3. その他のステークホルダーに関する取組（任意記載）

当社は、地域社会との共生を重要な経営課題の一つと捉え、地域市民の一員として、地域社会への貢献を通して、身近な人を幸せにすることから始め、地域社会との共生の実現を目指します。ガリレイ1%クラブでは、税引き前利益の約1%を社会貢献活動に活用し、従業員自らボランティアに参加しています。今後もパーパスである「食といのちの未来を拓く」の実現に向け、社会貢献活動に積極的に取り組んでまいります。

これらの項目について、取組状況の確認を行いつつ、着実な取組を進めてまいります。

以上

令和6年3月4日

フクシマガリレイ株式会社  
法人名

代表取締役社長執行役員 福島 豪  
役職・氏名（代表権を有する者）